**【電車男／２ちゃん過去ログ１】**

もともと【電車男】が２ちゃんねるの某スレッドで話し始めた初日は、  
  
実はＡＴというハンドルネームの男性の話が進行中だった。  
  
そこの住民はその話を待っていたのだが、留守の間にひょっこり  
  
やってきた【電車男】が今日あったことを話し始めたのだ。  
  
電車男は３／１４から５／１７までのストーリーだが、  
  
いつもはロム専だった彼が、３／１４をきっかけに話し始めた。  
  
  
  
  
これは２ちゃん過去ログ倉庫の【電車男】本人のログである。  
  
なお、２ちゃんはご存知のように板によっては過激でまた、  
  
発言的に問題のあることも多いため、その部分に関してはこちらで  
  
削除しました。ストーリーと関係ない話も削除しています。  
  
これによって通常、女性では読めないような部分が多い  
  
２ちゃんスレッドも安心して読めるよう編集してあります。  
  
  
スレッドの一発目、７３１が【電車男】である。  
  
  
  
  
  
  
731 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:25   
すまん。俺も裏ぐった。   
文才が無いから、過程は書けないけど。   
  
このスレまじで魔力ありすぎ…   
おまいらにも光あれ…   
  
  
732 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:27   
なんだとこあんちくしょうぁあああああ   
  
  
733 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:28   
きになる   
  
  
734 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:28   
>>731   
彼女が出来たのか？   
  
  
735 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:29   
ネタだろ。そうだと言ってくれそうだとうわなにすんだやめ   
  
  
736 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:31   
壺を買わされたんだろ？   
  
  
737 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:33   
>>734   
違うけど。でも大チャンス   
こういうこと続くとネタにしか聞こえないよな   
とにかくおまいら外に出てみろ   
  
  
738 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:35   
ごめん。よく考えたら大チャンスじゃなかった…＿|￣|○   
冷静になれ俺…   
  
  
739 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:36   
>>737   
これを打つのも何度目だろう、   
  
　　詳　細　キ　ボ　ン   
  
  
740 ：731 ：04/03/14 21:38   
>>739   
上手く書けないけど   
ちょっと書いてみる。   
ロムってたばかりの俺だからさ…   
笑わないでくれよ…   
  
  
741 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:41   
誰も笑わないよ   
  
  
742 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:42   
>>740   
心配するな。   
少なくとも女性と接することができた   
おまいを笑えるヤシなどここにはいない。   
  
　　　　＿|￣|○   
  
  
  
743 ：731 ：04/03/14 21:45   
>>741   
今書いてるんだけど、舞上がってるのもあって上手くかけねー！   
状況の意味伝わるかな…   
文下手でスマソ   
  
  
  
745 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:49   
ともあれ、行動を起こしたおまいに乙。   
  
  
746 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:50   
行動する勇気をもった貴方に乾杯です   
  
  
749 ：731 ：04/03/14 21:55   
今日は秋葉に行ってきた。特に買う物無かったんだけど   
帰りの電車の車中で酔っ払いの爺さんがいた。   
その車両には座席の端で座ってる俺と爺さん以外は殆ど女性。   
２０代～４０代くらいかな。   
  
その爺さんが、周りの女性客達に絡み始めた。   
最初に若い女性に絡んだんだが、その人はすごい気が強くて   
爺さんを一喝して次の駅でさっさと降りていった。   
その時、俺は迷惑な奴だなぁとチラチラ様子を見てた。   
  
爺さんは次に俺の座っている座席に来て、真ん中らへんに   
座ってるおばさん数人に絡み始める。   
「携帯使ったらただじゃおかねーぞ」   
みたいなこと言ってビビらせてたと思う。   
おばさん達は（´・ω・`)←こんな感じで押し黙ってしまった。   
  
なんか長くなりそう。   
  
  
750 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:57   
>>749   
結末が読めた   
でも完結ヨロ   
  
  
751 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:59   
結末…車掌に知らせて鉄道警察に渡して終わり？   
  
  
752 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:00   
セルシオは兄貴のやつがそうだけど、   
ずいぶんと動かしにくいよ。幅が取りにくい。   
  
  
753 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:01   
またしても家族がセルシオユーザーキタ━━━('A`)━━━!!!   
  
  
754 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:01   
爺さんは雇うのにいくらかかりましたか？   
  
  
755 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:02   
セルシオの十分の一の値段の車のおれ・・・   
  
  
756 ：731 ：04/03/14 22:04   
なんか上手く書けないので>>751でＦＡでいいでしょうか？（´・ω・｀）   
  
  
  
757 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:06   
>>756   
別にいいよ　   
お前には何も期待してないから   
  
  
758 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:06   
本スレが別れの季節ですよ   
  
  
759 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:08   
敢えて春先に潜るか・・・   
  
  
760 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:09   
確かに文ｓ（ｒｙ   
  
  
761 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:11   
女の子との出会いはあったんでしょ？＞731   
  
  
762 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:14   
>>731   
そんなこといわずに続きを（´・ω・｀）   
  
  
763 ：731 ：04/03/14 22:15   
>>761   
出会いになるか分からないのですが…   
あの時、俺にもっと勇気があれば…   
  
一応今書いてます。もちつけ俺。   
  
  
764 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:16   
本スレではいま蛍の光が流れています   
お別れを言いたい方はお急ぎください   
  
  
765 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:17   
>>764   
本スレとここはすでに違う道を逝っている   
そっとしといてやれ   
  
  
  
766 ：731 ：04/03/14 22:23   
おばさん達はそのままじっと下向いて   
「関わらない方が良い」という感じだった。   
すると、爺さんはまた訳の分からないことをわめきつつ   
「女は黙って男に使われてりゃいいんだよ」   
みたいなことを言って、手をおばさんの顔に持っていって顎を掴んだ。   
俺はさすがにマズいと思って、勇気を振り絞ってちょっと叫んだ   
「おい、やめろよ！」と。きっと声震えてた。   
俺、喧嘩とかしたことなかったし。   
それでも爺さんに聞こえてなかったらしく、反応無し。   
「おい！あんただよ！やめろっていってるぎうこｈくえほｐ！」   
必死にもう一度叫ぶ。そこでおばさんが「いいから、大丈夫だから」と   
立ち上がった俺を制する。爺さんはようやく気付いたらしく   
俺の方を向く。   
「さっきからジロジロ見やがって…」   
と睨み付けられた。   
  
千鳥足で俺の座席の前までやってくる。   
「あぁん、お前幾つだ？」   
「２２だ！」   
「俺はなぁ６０こいえおヴぃえそいｖ」   
何言ってるかよく分からなかったけど、大体「若いくせに生意気な」   
みたいな感じのことを言ってきた。   
「なんだ？やるのか？やるのか？」   
爺さんはもう喧嘩腰だった。   
「ハア？何をですか？警察呼びますよ」   
「警察でもなんでも呼べじょふげｇ」   
そうのたまりながら、手を振りかざしてきた。   
手元が狂ったらしく、俺の隣に座ってる女性に手が当たった。   
と言っても、平手がかすったくらいだけど。   
  
  
どうやって文章って短くするんですか…？（´・ω:;.:...   
  
  
767 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:26   
>>766   
べつに読みにくい文章ではないよ。   
  
＞やめろっていってるぎうこｈくえほｐ！   
  
ワラタ   
  
  
768 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:27   
あった事を書けばいいんだｙｐ。   
  
短くすると必要以上に省く危険があるのでオススメできない   
  
  
769 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:30   
俺がこんなオイシイ体験したら   
  
  
逃げるんだろうな…\_|￣|............○))   
  
  
770 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:34   
現実世界でこんなお約束……いや、馬鹿の一つ覚えな展開になるわけない!!!   
  
  
771 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:34   
そしたらその手が女性にくっついちゃってもう大変！   
「おっ！？おわ、どうなってんどｙそｊｋｈｇ！おわわわわー！」   
「いやっ！いやあ！」   
「おわわー！」   
俺はたまたま念力をつかえるので「ちょわー！」とアレをやったら   
はずれたので、おいしかたあ。   
  
  
772 ：731 ：04/03/14 22:37   
「キャッ！」とその女性客が後ろに退いた。   
俺は無我夢中で立ち上がって爺さんの両腕を掴んだ。   
その隙におばさん達の一人が車掌さんを呼びに行ったのが見えた。   
  
その時、騒ぎに気が付いた隣の車両にいた２０代後半くらいの   
サラリーマンが助けに来てくれた。揉み合う俺と爺さんを見るなり   
爺さんを後ろから羽交い締めにする。   
「あぁ、わかったわかった。そんな若い子に絡むなよ」   
さすが人生の先輩だった。刺激せずになだめる事を知ってる。   
「俺が押さえてるから、君はもう座りなさい」   
俺もかなり興奮してたから、そのサラリーマンについでに   
なだめられてしまった。爺さんはそのサラリーマンには   
全然脅しかけないでやんの。自分より強いと思ったからなんだろうな   
俺は舐められてたんだなと何故か悔しくなるヽ(`Д´)ノ   
  
俺が座る隣の女性が   
「迷惑な人ですね」   
と、俺に声をかけてきた。   
「本当迷惑です」   
もっと気の利いたこと言えよ俺。＿|￣|○   
  
  
疲れた…＿|￣|○   
  
  
  
774 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:40   
>>772   
踏ん張れ！   
ここからが正念場だろ！   
  
  
  
779 ：731 ：04/03/14 22:52   
カッコ悪いよ俺。   
カコイイよリーマン。   
  
  
しばらくすると車掌さんが来た。   
「とりあえず、警察に引き渡すので次の駅で降りて下さいね」   
と爺さんに言うと、またわめきだす。   
  
事件扱いにするということで、次の駅で   
俺と、隣の女性と、おばさん達、爺さんが降りた。   
すると車掌さん   
「ちょっとお巡りさん呼んでくるから、その人押さえててくれますか？」   
と、どこかに消える。俺と爺さんと女性陣を残して。頼りにならねぇと思った。   
俺は爺さんが逃げないように腕を捕まえていたんだが   
「掴むんじゃねぇよ！逃げねぇよ！」   
とわめき散らす。周りの香具師らも助けてくれないし…(´・ω・`)   
  
それからずっと逃げようとする爺さんをおさまえていると   
ちょっとしてようやく、警察官が２、３人やってきた   
「このお爺さん？」   
と俺に聞く。はいと答えると、物凄い勢いで   
爺さんを駅員詰所に連れ込んで行く。俺らも後に付いて行く。   
そこで全員の身分証明をした後に   
「これ、事件にします？」   
と女性陣に問うと、全員   
「いや、いいです」   
との答え。俺は一応何もされてないと答えておいた。   
  
  
780 ：731 ：04/03/14 23:06   
事件にしなくても、何か書類を書かないといけないらしくて   
女性陣と俺も一応交番まで付いて行くことになった。   
その道中   
「俺のせいで、大変なことに巻きこんですいません」   
と女性陣に謝った。本当はおばさん達はもっと先の駅で降りるはずだったので。   
女性陣は   
「いいんですよ」   
と笑ってくれた。   
  
交番に着くと、爺さんは交番の奥へ連行される。   
わめき声と警察官の怒号が聞こえてきた。   
「たっぷり油搾ってやるからｗ」   
とお巡りさんが笑った。   
  
調書（？）をカリカリ書いている女性陣を見てて   
俺はまた謝らずにいられなくなって   
ペコペコ頭下げながら謝った。   
あの時、黙ってればこんな大事にならずに済んだのに   
という思いで頭の中がいっぱいだったから。   
「今時、お兄さんみたいな人、なかなかいませんよ」   
と、おばさんの一人が言ってくれた。救われた様な気がした。   
  
  
あともうちょい…   
結末バレてるけど…   
  
  
781 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:08   
いけいけ   
  
  
782 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:09   
>>780   
そして、そのおばさん達と・・・   
ってながれだなｗ   
  
  
783 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:12   
いやいや、酔いが醒めて反省したお爺さんが孫娘を紹介してくれるんだよ。   
  
  
784 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:17   
よし、やっと服脱げた（・∀・）   
  
  
785 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:18   
いやいや、交番の奥から腹を刺された警官が出てくるんだよ   
爺さん、ナイフを手に握って目を血走らせて、   
  
  
  
786 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:23   
そこで、さっきのリーマンが颯爽と登場し、   
  
  
787 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:23   
やらないが？   
  
  
788 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:24   
そこで125が彼女と現れて   
リップ（ｒｙ   
  
  
789 ：731 ：04/03/14 23:24   
何を思ったか   
「あ、僕はもう帰って良いんですか？」   
俺はお巡りさんに言った。   
「はい、もういいですよ。本当にありがとうございました」   
とお礼まで言ってくれた。女性陣も深々と頭を下げて   
「ありがとうございました」   
と。   
「良かったら、お名前とご連絡先を教えてくれませんか？」   
と、おばさんの一人が言った。   
俺はおばさんの持ってたメモ帳に名前と住所を書いておいた   
「すいません…私もいいですか？」   
隣に座ってた女性にも書いておいた。   
すると   
「是非、今度お礼させて下さいね」   
と言う。慌てふためいて   
「いや、いいです、いいです」   
と言ってしまった。すぐに   
「では、本当にすいませんでした」   
と逃げるように去っていった   
  
  
  
終わりです。   
あとで気が付いたんだが   
なんで俺、そこで相手の連絡先聞かなかったんだ…＿|￣|○   
俺、女の人に感謝されたこと無かったから   
焦っちまったよぉぉぉぉーーー